

子どもたちの学力向上に向けて、家庭での基本的な生活習慣の確立や家庭学習の定着をめざし、大切な情報を発信します。

自主学習のすすめ



中学生の将来就きたい職業ランキング

右の表は、2020年に調査された、全国の中学生の将来就きたい職業ランキングです。みなさまのご家庭では、なりたい職業についてお話しされることはございますか。こちらの調査によると、**50.0%**の中学生が「わからない」と答えており、2017年の調査では**32.0%**だったことと比べ、大幅に増加しています。今は将来の職業について考えることがあまりなくても、いつかは働きたい、アルバイトをしてみたい、などの気持ちを持っているお子様もいらっしゃると思います。将来の夢や目標がある人はそれに向かって、まだ決まっていない人は、いつか夢ができたときに叶えられるように、力を蓄えていくことが必要であり、憧れる、あるいは就きたいと考えている職業に関わる専門的な知識を身につけるためには、義務教育である小学校・中学校での学びが大切です。勉強でも運動・芸術でも、まず基礎・基本を身につけてから、さらに高い目標をめざすことになります。まずは身近な目標を設定し、近づいてきた春休みの過ごし方について、お子様と一緒に話をされてみてはいかがでしょうか。

	将来就きたい職業	割合
1位	会社員	4.2%
2位	学校の教師・先生	2.8%
3位	看護師	2.7%
3位	エンジニア・技術者	2.7%
3位	公務員	2.7%
6位	医師（歯科医師含む）	2.2%
6位	パティシエ（ケーキ屋さん）	2.2%
8位	プログラマー・プログラムエンジニア	2.0%
9位	漫画家・イラストレーター	1.8%
10位	薬剤師	1.7%
10位	大工さん・建築家	1.7%
10位	美容師	1.7%
13位	eスポーツプレイヤー、プログラマー	1.5%
14位	その他スポーツ選手	1.3%
14位	保育士・幼稚園教諭	1.3%
16位	動物園の飼育係	1.2%
17位	プロサッカー選手	1.0%
17位	ファッション関係	1.0%
17位	ゲームデザイナー	1.0%
20位	YouTuberなどのネット配信者	0.8%
	わからない	50.0%



自主学習の効果

資料:学研教育総合研究所(Gakken)

今年度も残りわずかとなりました。3月は、3年生は卒業後の進路に向かって大きな節目となり、1、2年生にとっては、4月から新学年になるための準備期間として、大切な1か月です。「家庭でも勉強はした方がいいと分かっているけれど、どのようなやり方がよいのだろうか?」「本当に効果があるのだろうか?」などと、疑問に感じておられる保護者の方もいらっしゃるかもしれません。

裏面の表は、令和3年4月に実施された、全国学力・学習状況調査の「平均正答率」と「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」という質問、つまり「自主学習習慣」との相関を示したものです。大阪市の中 学 3 年生の回答結果と共にお示ししています。

【令和3年度 全国学力・学習状況調査の「平均正答率」と「自主学習に取り組む割合」のクロス集計結果】

Q 家で自分で計画を立てて 勉強していますか	自主学習に 取り組む割合(%)	平均正答率(%)	
		国語 (14問)	数学 (16問)
1 よくしている	15.3	68.4 (9.6問)	64.7 (10.4問)
2 ときどきしている	41.3	62.3 (8.7問)	56.4 (9問)
3 あまりしていない	30.2	59.4 (8.3問)	51.3 (8.2問)
4 全くしていない	13.2	55.5 (7.8問)	45.4 (7.3問)
合計	100.0	61.5 (8.6問)	54.7 (8.8問)

「よくしている」「ときどきしている」を合わせると **56.6%** となり、大阪市の中学校3年生のうち、およそ半数の生徒は自主学習に取り組んでいると回答しています。クロス集計結果を見ると「あまりしていない」「全くしていない」人よりも、自主学習をしている人の方が、平均正答率が高くなっており、努力したことが結果につながっていることが分かります。すぐには結果が出ないかもしれませんが、毎日の積み重ねを続けることが、学力の向上につながります。例えば、次にお示しする「自主学習の進め方」を参考に、自主学習に取り組むお子様を、励ましていただきますようお願いいたします。

中学生のみなさんへ



自主学習の進め方

いざ勉強しようとしても、何から手を付けて良いかわからない、やる気はあるけど続かない、という人もいるかもしれません。勉強するときに、授業で学んだ（インプットした）ことを誰かに伝えたり自分なりに振り返って要点をまとめたりする（アウトプットする）ことで、確実な知識として定着します。

下に、1日の振り返りノート例を載せています。こちらの例を参考にして、1日1ページを目安に、その日学んだことを自分の言葉でまとめてみましょう。うまくまとめられなかったり、何を学んだか思い出せない教科は、復習が必要ということです。好きなデザインのノートを用意したり、振り返りの時間をいつとるのか考えたりしながら、自分に合った学習方法をみつけていきましょう。分からないことや不安なことがあれば、学校の先生やおうちの人に相談してみてください。みなさんの夢が叶うよう、応援しています。

教科	すうがく 数学	今日の単元 (教科書 ○× ページ)	理解度	A・②・C
		(○章 「資料の整理」 度数の分布)		
まとめ		資料をいくつかの区間に分け、その区間ごとに資料の個数を示した表を度数分布表という。		
		う。長方形を並べたグラフをヒストグラム（柱状グラフ）という。ヒストグラムではそれぞれの長方形の面積がその階級の度数に比例する。長方形の上の辺の中点を結んで		
		できる折れ線グラフを度数折れ線という。		
教科	しゃかい 社会	今日の単元 (教科書 210～213 ページ)	理解度	A・B・③
		(4節 中部地方 1「中部地方の自然環境」)		
まとめ		中部地方には3つの気候がある。		
		東海…太平洋側の気候、夏に雨が多い、茶・みかんの栽培がさかん		
		中央高地…中央高地（内陸）の気候、日本アルプス、野菜の生産がさかん		
		北陸…日本海側の気候、冬に雪が多い、米の生産が多い		